

山那恵さん

至大判山、鳥越峠、神坂峠 (1595M) 140分

大きさは土間8帖、板張間10帖にて、きれいで"宿泊"で"きる"。

注、丁頁上は広場は大きい、木が成長し展望は無、H12.5.27

山頂からの展望は広大で、東方に富士の秀峰を望み、北は日本アルプスを背景に、木曽山脈を一望することができ、

小屋の裏からの展望も見えよ。名古
屋からカマボコ形に見える山を、今日は反対
に遠望するよるこびを味あいた。

惠那山は中央アルプス最南の山で、
一名舟覆山とも呼ばれ、美濃路の最
高山峰である。中津川駅前よりタクシ
ーかマイカーで里井沢から入山する。

登山口より野熊の池まではゆるゆるに登り、きつい池の傍で休憩した後は、熊笹を切り開いた炎天の道で、甚しいが、風景は高山地帯の気分の味わいがあり、脚力も盛りに上ってくる。

水場道分岐より、樺村林帯の中の滑りやすい山道で歩きにくいのが冷たい水場で元氣を取り戻し、15分で山丁頂小屋前の天然の大庭園に着く。誠によいところで、3000メートル級の山へ登った感じだ。

惠那山は

名古屋市内のビルの屋上から、
北方向に見えろカマボコ状をした
大きな山容が恵那山で、いつも
青黒くなだらかな姿は私達を
いつも招いているようです。

40数年前、この山に登って迷
子になった女學生があつてから、中津
川市には、杖が山で、遭難になり
ようにと、笹や枝を括めて登山路
を整備したので、登山者も増えた。

野子熊の池は林の中にひっそりとし、
オタマジャクシの形をしている。
深くはないが澄んだきれいな
水はシッポが川川となって流れてお
り、大きさは 20〜30メートルぐらゐは
あるが、休憩には格好の場所。

(注) 惠那山へはタクシにて黒井沢まで行く。帰りを電車でタクシーを呼ぶことはできないので、下山時刻に迎えを頼んでおくこと。

さわやかな風、緑深き
沢の横上につくられた昔か
らの古い登山路、ツヅラ
折れの急坂を右から巻き
ながら次第に高度を上げ
ていくような雰囲気である。

丁夏上も〇として58^M間隔
に番号を示した高さ25cm
ぐいすの黄色のポールが埋
設されているので迷うこと
はない。(昭和61年9月5日)

H12.4
名古屋803
発の快速
が、7:28発
の普通か
ある。

26"馬車可30台(マイク-はニニホエ)

③ (每日登山 9:30 出发 17:30 下山)

51/5000

1997 H9.4.1 改 昭和50年6月29日(日)

信光村木

H12.5.27(土) 毎日登山 21名 2"登山